

図書館通信 —16—

1972. 7

卒業論文と図書館

〈文献入手マニュアル〉

卒論にとりかかる時期になった。早い人は三年生の終りにはテーマ発表も済み、そろそろ軌道にのる頃だろうか。これによって過去十数年間の教育の一応の終止符を打つわけで、教育により身につけた学問的技術を、或いは個人の全知識を集大成して具体的な形に表現していくのである。恐らく教育者の側にあってもこの卒論をどのように受けとめさせ将来への展望を開かせるか、将来の立脚点になるべきものを取得させるかに腐心しているに違いない。むろん一学問分野への貢献ということのみではないだろう。将来どのような体験を経るにせよ、未知の問題に対し考察し、解決努力していく、つまりごく基本的な姿勢の取得を狙いとしているのではないだろうか。図書館側として、その作成にどの程度援助できるのであろうか。はなはだ疑問ではあるが、できる限りの援助を惜しまない。そこで提供できる図書館サービスの一端を追ってみた。

1. 館内資料の利用—蔵書の特徴とサービス—

(1) 蔵書の特徴（書庫）：検索上のポイント

a 旧制静岡高等学校蔵書

昭和24年までに刊行された資料から成る約30,000冊の蔵書。人文・社会科学系分野に基本的資料が多い。蔵書目録は(図1)①にあり、和書は主題・著者から、洋書は主題から検索でき、分類表は①の上にあります。次のような資料を所蔵しています。

- 幕末明治新聞全集 ○群書類従（正・続・続々・新） ○漢文大系（富山房版） ○漢籍国字解全書
- 国訳漢文大成（正・続） ○校註国歌大系 ○日本戯曲全集（歌舞伎・現代） ○日本俳書大系 ○日本教育文庫 ○日本教育史資料（附録欠） ○日本倫理彙編 ○日本随筆全集 ○日本儒林叢書（正・続・続々）
- 列聖全集 ○史料大成（43巻欠） ○史籍集覧（正・続；続の3冊欠） ○有朋堂文庫

b 旧教養部西部分室蔵書

昭和42年までに刊行された資料から成る。国語学・国文学・英文学・教育学資料が充実している。蔵書目録は(図1)②にあり、主題・書名から検索できます。国文学資料を4点挙げておきます。

- 俳諧文庫 ○俳諧叢書 ○国文註釈全書 ○未刊国文古註釈大系

a・bの他に本館として購入した資料があります（A・B以外の蔵書目録）ので三者を併用の上研究効果を上げて下さい。

c 明治・大正新聞コレクション

元参議院議長河井弥八氏寄贈によるコレクションで、東京・静岡他で明治大正期刊行された下記の新聞から成る。当時の社会事情を知る好個の資料。（閲覧のみ）

報知、読売、大阪毎日、大阪朝日、朝野、新朝野、静岡民友、静岡新報、静岡、重新静岡、静岡大務、毎日、東京毎日、東京朝日、東京日日、東京曙、東海中立、東海民報、日本、中央、二六新報、浜松、万朝報、やまと、時事新報、国民、高岡、高岡日報、自由、法律、文芸週報、芸備日々、The Japan Daily Mail、他

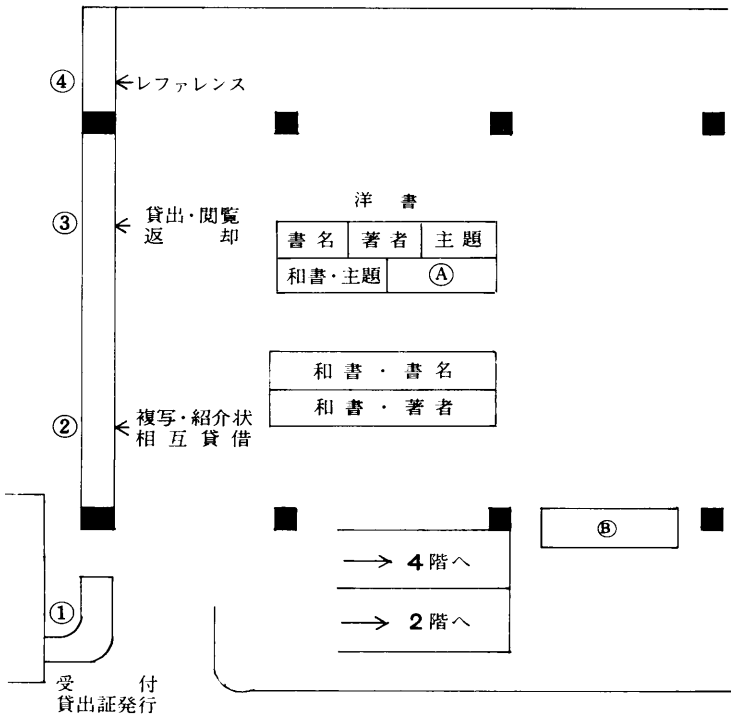
(2) 特別貸出と入庫について

通常のサービスの他に卒業論文を執筆する諸君に特別貸出・入庫の制度が適用されます。詳細は6

もくじ

• 卒業論文と図書館	…P1
• 学生購入希望図書	…P4
• 私のすすめたい本	…P5
• お知らせ	} …P6
• 附属図書館白書(その1)	
• 昭和47年度附属図書 館委員会構成委員	
• 人事異動	

2
(図1)



注

②複写 写：学外への依頼(要印鑑)を含む。
実費負担

②相互貸借：学外資料を借受けること。送料負担要印鑑。返却は②へ

②紹介状：直接学外機関を訪問する際に必要。発行事務を行ないます。
要印鑑

※学外資料の複写ならびに相互貸借には2週間ほどかかります。早めに申し込んで下さい。

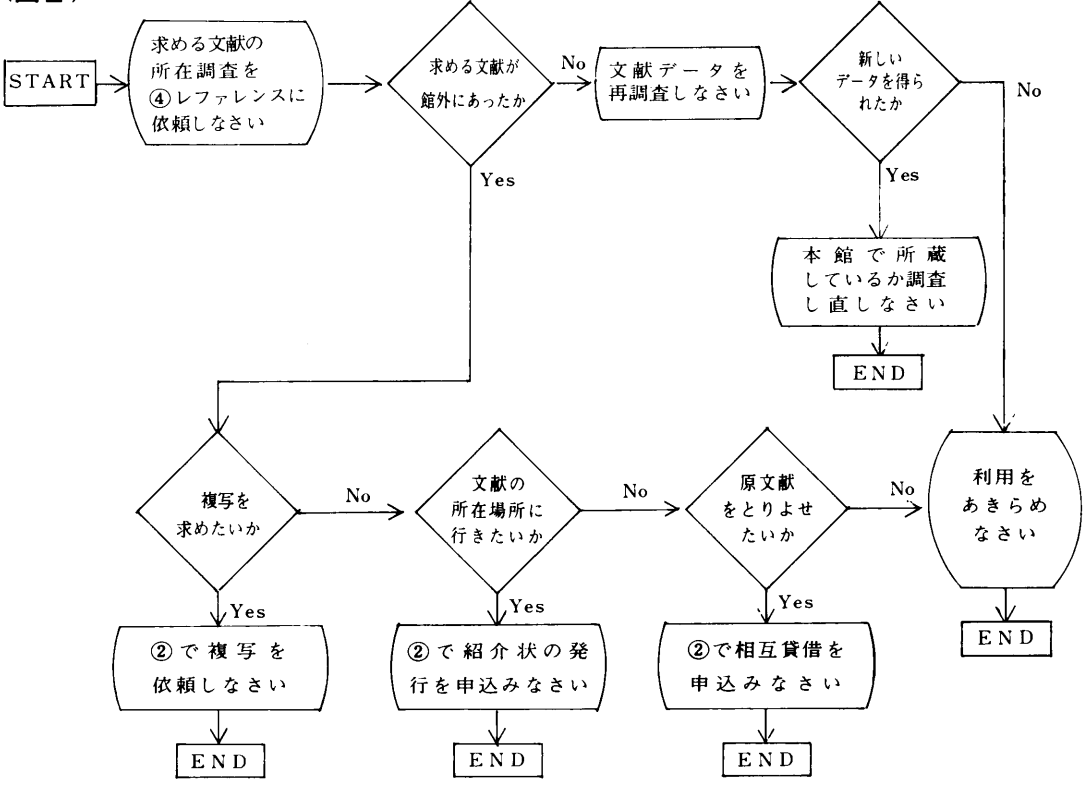
③貸出：館外への持出。貸出証が必要
卒業用貸出には指導教官の捺印も必要です

③閲覧：書庫内資料の館内での利用

④レファレンス：蔵書目録の使い方、資料の所蔵有無、所蔵機関調査、情報機関の調査等を行ないます

④旧制静岡高校蔵書目録
⑥旧教養部西部分室蔵書目録

(図2)



注 雑誌の場合、相互貸借は不可能ですので、複写で求める資料を入手するか、直接所蔵箇所を訪問して利用して下さい。

ページ「お知らせ」を参照して下さい。③番閲覧で取扱っています。

2. 館外資料の利用—ある特定の文献が必要な場合 (1)所在調査

本館で求める資料を所蔵していない場合は④番レファレンスで所在調査を行っています。

利用方法は(図2)によって下さい。

(2)直接利用する場合—図書館・情報機関の紹介—

複写・相互貸借の他にまとまったコレクションに直接当たりたいとか、専門的情報を詳細にわたって求めたいという場合には、文書・電話・訪問によってもサービスは受けられます。いくつか紹介してみます。なお下記以外の機関や利用については末尾に掲載した文献を利用するか、レファレンスに問合わせて下さい。

(注)①交通 ②休館日 ③サービス内容 ④蔵書の特徴 ⑤特殊コレクション ⑥所蔵目録類 ⑦利用上の注意

○浜松分館 浜松市城北3-5-1

TEL 0534711171 (代表)

②日・祝日③複写・レファレンス・相互貸借④応用科学関係資料を中心に約7万冊所蔵⑥増加図書目録、雑誌目録⑦電子工学研究所、工業短大の図書館を兼ねている。

○農学部分館 磐田市見付4300 TEL 05383

(2)2131 (代表)

②日・祝日③複写・相互貸借④蔵書約3万冊、農学を中心とした生物科学関係図書⑥雑誌目録

○国立国会図書館 東京都千代田区永田町1-10-1 TEL 03 (581) 2331 (代表)

①地下鉄丸の内線国会議事堂前下車②日・祝日③複写・レファレンス・相互貸借④日本最大の蔵書約240万冊所蔵。国内刊行資料はほぼ全点所蔵。国際連盟・国際連合刊行物、原子力関係資料も豊富⑤憲政資料・旧幕引継文書・亀田文庫・二宮尊徳文庫他⑥蔵書目録、桂太郎関係文書目録、陸奥宗光関係文書目録、旧幕引継書目録、亀田次郎旧蔵書目録、児童図書目録他⑦一般公開

○国立公文書館内閣文庫 東京都千代田区北の丸公園3-2 TEL 03 (214) 0621 (代表)

①地下鉄東西線竹橋下車②日・祝日③レファレンス④江戸幕府、諸大名、学者、明治政府の集めた約50万冊の古書が主体、異本、異版の校合に便利⑥国書分類目録、漢籍分類目録、明治時

代洋装図書分類目録、洋書分類目録仏書篇⑦許可制

○東京大学総合図書館 東京都文京区本郷7-3-1 TEL 03 (812) 2111 (代表)

①御茶の水駅より直通バス②日・祝日③複写・レファレンス・相互貸借④あらゆる分野にわたる東大蔵書(約300万冊)の中央館。洋書は国会図書館より豊富に所蔵⑤南葵文庫、鷗外文庫、霞亭文庫他⑦要紹介状。東京大学にはこの他、明治新聞雑誌文庫・史料編纂所などがある。

○日本近代文学館 東京都目黒区駒場4-3-55 TEL 03 (468) 4180

①井頭線駒場東大前下車②日・祝日、月末整理日③複写・レファレンス④明治以後日本文学の専門図書館。詳細な蔵書目録がある⑤社会文庫⑦有料

近代文学者の索引カードを完備しているのは昭和女子大学近代文庫がある。また明治文学コレクションは東京都立大学附属図書館、山梨大学附属図書館の近代文学文庫が挙げられる。

○東書文庫 東京都北区堀舟町1-23-31 東京書籍株式会社内

①京浜東北線王子下車②日・祝日④我が国最大の教科書コレクション。戦後の英米ソ仏の教科書もある⑦一般公開

教科書コレクションは松浦文庫、望月文庫(共に東京学芸大学附属図書館所蔵)宮木文庫(東京教育大学附属図書館所蔵)がある。

○静岡県立中央図書館 静岡市谷田620 TEL (82)1241

①静鉄草薙下車又は新静岡センターより直通バス②日・祝日、月末整理日③複写・レファレンス④郷土資料を豊富に所蔵⑤葵文庫・久能文庫現代詩ライブラリー⑥昭和11年現在の蔵書目録雑誌目録・郷土資料目録他⑦一般公開、資料持達は不可。

○総理府統計局図書館 東京都新宿区若松町95

TEL 03 (200) 5627

①新宿駅西口より岩本町行バス東大久保下車②日・祝日③複写・レファレンス④一般行政資料、統計関係書、日本の統計書は網羅的に収集している⑦一般公開

経済関係には、経団連図書館、金融経済研究所資料室、JETRO貿易資料センター、経済企画庁図書館等がある。

○防災専門図書館 東京都千代田区平河町2-6

日本都市センター会館内 TEL 03(265)8211(代表)

- ①地下鉄丸の内線赤坂見附下車③レファレンス・複写④災害関係資料を収集、特に関東大震災関係資料は充実している。公害関係図書 3,900冊
⑥公害関係図書目録⑦一般公開

この他各大学図書館に対し紹介状を発行します。夏期休暇等に利用されるとよいでしょう。

1. 「専門機関情報総覧1969」(081.3-Se 69 - 1969)
- 2 「日本文庫めぐり」(016-196)
3. 「全国特殊コレクション要覧」(027-Ko 49)

3 論文の書き方・まとめ方—参考文献の紹介—

論文の書き方、まとめ方について解説した参考文献を挙げておきます。() 内㊦は4階、㊧は書庫内図書

○国語・国文レポートと卒業論文の方法

斎藤清衛等編 右文書院 昭45(㊧810.7-Ko47)
実例を挙げ論文執筆上生ずる問題点と対策を紹介し、国語学・国文学の各研究分野固有の問題を取り上げ基本文献に触れている。最後に歴史分野・外国文学との関連性ならびに近代文学研究の傾向に言及して、実例とその批評を掲載している。

○英語論文とレポートの書き方

鳥居・宇山著 英潮社 昭42(㊦836-T0 67)
一般に論文またはレポートを書くのに必要な準備方法を概説したあとで、主にアメリカにおける標準的形式に基いて形式上の注意を詳述している。最後に英語表現上の細目とタイプ打について解説し、参考文献と論文様式のサンプルを掲げてある。英語・英文学中心に解説。著者は本学教授。

○英語論文の手引 第2版

アメリカ現代語学文学学会編 原田敬一訳 北星堂 昭46 (㊦830.7-P24)

MLA style sheet 第2版の翻訳。原稿が出来上り、タイプで清書する段階から提出の仕方までふれた親切な標準的案内書。アメリカ大学院生以上必携書と言われている。

○卒業論文のテーマと書き方

野町二著 研究社 昭44 (㊦930.7-N94)
内容は英文学に限定。冒頭で文学研究論文の目的と方法と題し、学生にとっての問題点にふれたあと、劇作品、詩、短編小説、長編小説の4つのジャンルにおける研究上の隘路を取上げ、考え方を示している。

○地理学論文のまとめ方と書き方

矢島仁吉著 吉永書院 昭45(㊦290.7-Y16)

“着眼点と執筆上注意すべきことを記述”したものの。論文に着手する以前の問題、すなわち基礎的知識、隣接科学、語学力、研究態度、野外調査などに言及、次いで準備段階から論文執筆の要領、発表方法、資料の求め方、地図と図表の使い方にわたる広い範囲を解説している。巻末に参考文献をリストしている。

○科学論文の書き方 訂正24版(全訂4版) 田中義鷹、田中潔著 裳華房 昭45(㊧407-Ta84)

論文の構成、原稿作成方法、用語、表と図、文献の探索・入手・整理・論文での表現等を詳細に説明している。巻末に科学論文の書き方に関する参考文献をあげている。

以上の他に下記の文献があります。

○論文と抄録の書き方

中村幸雄著 日本ドキュメンテーション協会 昭44 (㊧407-N37)

○科学論文のまとめ方と書き方

富田軍二著 朝倉書院 昭45(㊧407-To 58)

○技術文書のまとめ方 上・下

山中秀男著 東洋経済新報社 昭46 (㊦507-Y34)

○化学と整理

竹西忠男著 南江堂 昭41(「化学の領域増刊」75) (㊦430.4-Ta 64)

○英語の化学論文

溝口歌子著 南江堂 昭42(「化学の領域増刊」55) (㊦430.7-Mi 93)

○科学研究の計画と進め方

E.B.ウイルソン著 技報堂 昭46(㊦507.6-W75)

■学生購入希望図書—購入決定のもの—

末川博 権利濫用の法理 岩波書店

色川大吉 民衆憲法の創造 評論社

日高六郎 戦後日本思想大系(全16巻) 筑摩書房

林原耕二 漱石山房の人々 講談社

金山克己 全学連死闘の2年9ヶ月 前進社

Somorjai. Principles of surface chemistry
Prentice-Hall.

Caratheodory, Vorlesunger über
reele Funktioen. Chelsea

Pauling, L.C. The chemical bond.

Cornell Univ. Pr.

私のすすめたい本

まず自分で探す努力を

松本和夫

1. 最近理工科以外の分野にも数学または数学的なセンスが必要になってきている。このため「数学セミナー」とか「数理科学」とかいった数学や情報科学に関する何種類かの啓蒙的な雑誌が刊行され、広い層の読者をもつようになってきた。したがって数学の分野では、良書を探したり数学とはどんな学問であるかを知らうとする向きには、これらの雑誌は大変有用なガイドの役割を果たしているように思う。余り専門的でない数学書を探す場合には、これらの雑誌を利用して読者が自分で見つけることをまず第一におすすめしたい。手におえない時は先輩に聞きなり専門の数学者の知恵を借りるのもよからうが、読者がどの程度の数学的知識やセンスを身につけているか、またどの分野をどの程度まで勉強したいのかによって、ある人には良書でも他の人には必ずしも良書といえないことがあるので、確かな人にたずねるに限る。次にやや専門的な数学書については、[※]岩波の数学辞典（第2版）が大変参考になるように思う。数学の基本的な分野での名著といわれているものは、私のあたってみた限りでは、数学辞典の各項目のうしろに参考書として引用されているようであり（例えば高木貞治先生のは数学小景や過渡期の数学などの一般的なものを除いてほとんど入っている）数学辞典の一つの利用の仕方であると思う。

2. 次に数学書に接する場合、一般に良書といわれている書物でさえあれば、本の選び方よりもむしろ本の読み方や勉強の仕方の方が大切だと思う。また数学をその実用の面だけから考える人もあるが、もっと広い立場で人類のもつ最も古く偉大な文化遺産の一つとして接する方が、数学という学問体系の本質やその美しさを理解する早道であると思う。ここでは数学とはどんな学問であり、どんな勉強の仕方がよいのかを手短かに教えてく

れる書物として次の三冊をあげておこう。

- ※① 彌永昌吉著：数学のまなび方（改訂版）
ダイヤモンド社，1965
- ※② 赤・前原・村田編：数学のすすめ
（学問のすすめ9），筑摩書房，1969
- ③ 前原昭二著：数学とは何か
総合科学出版，1971

①の著者彌永先生はわが国を代表する著名な数学者であり、この書物は数学をまじめに学ぼうとされる人々のために、いろいろな勉強の仕方を初等幾何などのわかり易い材料をつかって丁寧に解説したものである。②では現代数学というものが長い年月を経てどのように形成されてきたか、またどんな内容からできているのかを要領よく解説し、さらにわが国の数学を現在の世界的なレベルにまで引き上げるのに指導的立場にあった数学者の随想がのせられている。また本書の巻末には参考文献として80冊余りの名著のリストがあげられているが、「私のすすめたい本」はほとんどこのリストに含まれているようである。③の著者前原さんは数学基礎論の専門家であり、数学とは何であるかを論理的な側面からわかりやすく解説しているが、軽妙な書きぶりの中に著者の研究態度がにじみ出ている点でも興味をそそられる。

3. 最後に蛇足。私は大学生活とくに教養課程では余り専門的な読書にかたよらないで、自分の生き方とか将来進もうとする学問分野の位置づけや意義など人生の本質的なことがらについてゆっくり考えるための読書が大切と思う。今後「情報化」がますます進んでくことと思われるが、正しい情報で、いまの自分にとって一番必要で、しかも自分に適している情報を選び出すという能力を身につけることが大切となってくる。そのためにも、まず自分をとくとみつめることが重要であろう。私自身学生時代、理科におりながら哲学書や文学書ばかりに親しみ、とくにいわゆる古典といわれているものを、時間をかけて何回も読み返したことが今となっては大変よかったと思っている。長い年月多くの人びとに読まれ続けてきたものはやはり人の心にふれるものを含んでいる。デカルトの[※]「方法叙説」はいつも私の身邊においてあり、この30年、折にふれて心のささえとなってくれる大切な書物の一つになっている。

※印は本館所蔵。

（工学部 教授 数学）

■附属図書館白書 〈その1〉

〔静岡大学定員数の推移〕

年度	昭和37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	増減
学 生	4,000	4,100	4,200	4,370	4,510	4,710	4,800	4,900	5,100	5,200	+1,140
教 授	128	135	141	154	170	185	198	204	211	217	+ 89
助 教 授	165	169	169	179	186	193	204	208	211	215	+ 50
講 師	28	26	24	18	12	9	6	6	5	3	- 26
助 手	68	72	73	85	93	104	119	115	115	115	+ 46
計	301	402	407	436	461	491	527	533	542	550	+ 159
事 務 官	174	175	176	179	185	194	201	202	204	204	+ 30
技 官	59	59	60	60	63	64	64	65	65	65	+ 6
その他の職員	250	258	253	282	280	289	297	289	287	280	+ 40
計	483	492	499	521	528	547	562	566	566	559	+ 76
図 書 館	17	17	17	17	17	17	19	19	19	19	+ 2

(単位：人)

■昭和47年度附属図書館委員会構成委員

(7月1日現在)

図書館長	石塚 経雄	
人文学部	岡部 政裕	坂本 重雄
教育学部	佐々木 昭	松本 繁樹
理学部	馬場 良和	森口 治生
工学部	市川 常男	染谷 太郎
農学部	斉藤 全生	西垣 定治郎
教養部	宗片 邦義	松井 巖
電子研	高木 克巳	豊田 耕一
本 部	谷口 健一	
法 短	高橋 清 (オブザーバー)	

■人事異動

〈本館〉

—退職—

運用係	鈴木 昇	(4月17日付)
	小野田勇	(6月30日付)

—転任—

整理係	塩見橘子(旧姓 山口)→大阪大学図
書館整理課受入掛	(6月1日付)

—新規採用—

運用係	望月信夫	(4月1日付)
	山本 孝	(4月18日付)
整理係	八木あすか	(4月1日付)

—配置換—

運用係	岩本 攻→総務係	(4月1日付)
整理係	高木由美子→運用係	(4月1日付)

お知らせ (本館)

(1) 学生に対する館外貸出の特別措置について

(イ)ゼミナールに用いるため借出す場合

2冊 2週間以内

(ロ)卒業論文に用いるため借出す場合

3冊 6ヶ月以内

但し、指定図書を除く。

この貸出については貸出期間の更新は認めないことを原則とし、貸出手続は休暇中の長期貸出に準じます。

(2) 学生の入庫の特別措置について

指導教官の監督のもとに書庫内検索を許可します。受付に申し出て下さい。

(3) 学生の夏季休暇中の開館時間について

月曜～金曜 9:30～15:00

土曜 9:30～12:00

但し、次の期間は閉館します。

(イ)7月24日(月)～7月31日(月)開架図書点検のため。

(ロ)8月28日(月)～8月31日(木)閲覧室整備のため。

(4) 夏季休暇中の長期貸出について

(イ)貸出冊数 4冊まで(指定図書は2冊まで)

(ロ)貸出日 7月6日(木)～8日(土)

(ハ)申込期限 6月30日(金)

(ニ)申込要領〇窓口③番に用意してある所定の申込用紙を用いて下さい。

〇申込用紙には必ず指導教官、またはこれに代わるべき教官の捺印を受けて下さい。

(ホ)返却期限 9月1日(金)～4日(月)

(5) 通常の貸出の停止について

長期貸出準備のため6月26日(月)から停止します。

(6) 電話局番の変更について

7月下旬に局番だけ変わります。

詳細は追って連絡します。

■編集後記

新しい編集委員：松本(教育学部)・坂本(人文学部) 石塚・大埜・畠山・佐藤(図書館)

本年度は図書館サービスの可能性、開発、限界ということテーマに編集して行きたいと思えます。いさきか手に余る感がなきにしもあらずですが、少しでも多くの読者を期待します。

静岡大学附属図書館 「図書館通信」 No.16 1972年7月3日発行

発行所 静岡大学附属図書館 静岡市大谷836 TEL(85)1171・1188

印刷所 文 化 洞 静岡市大岩3-29-6 TEL(45)6260